

JKA 補助事業による特殊浴槽（チェアーインバス）の導入について

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

事業所にある特殊浴槽（寝たまま入浴するシャワーバス）は、年数が経ち故障や汚れが目立ってきており、これまで部品交換等で対処してきましたが、メーカーでの部品生産が終了し、今後は、部品供給がされない状況でした。また、利用者からは「お湯に浸かってお風呂に入りたい。」という要望が出ておりました。

特殊浴槽（座ったまま入浴するチェアーインバス）一式を導入し、一人ひとりの身体状況に合わせた入浴介助を行い、利用者の皆様の生活の楽しみである『お風呂』を『お湯に浸かる』ということでより快適なものにし、利用者の皆様の身体の清潔、健康維持を保つこと、さらに、入浴介助を行う職員の身体への負担を軽減することで『利用者へより質の高い入浴介助』と『介護職員の労働環境改善（生産性向上）』を図ることが直接的な目的です。

(2) 実施内容

導入年月 2019年6月

導入場所 短期入所施設桑の里

導入機器 特殊浴槽一式導入

(株) オージー技研 介護浴槽 HK-825 1台、搬送車（座位タイプ） RA-825 1台



2. 予想される事業実施効果

最新の特殊浴槽（座ったまま入浴するチェアーインバス）の導入により、利用者には気持ちよく『お湯に浸かってお風呂』を楽しんでもらい、介護職員には、故障の不安を払しょくし、また身体への負担を軽減することで安心してサービス提供を行えることとなり、これまで以上に質の高いサービス提供を行うことで、利用者の家族など地域からの期待にも応えていきます。